

Ver1.0 番号	分類	項目名	必須／任意*1	タイプ	XML データ型	桁数	発注	出荷	出荷 梱包 （紐付 けあり）	出荷 梱包 （紐付 けなし）	受領	返品	請求	支払	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 *2	運用ガイドライン Ⅲ-2、 メッセージ項目解説 関連ページ
1	データ整合性	送信者ID	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			—
2		送信者ID発行元	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“ GLN”と入力する			—
3		受信者ID	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			—
4		受信者ID発行元	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“ GLN”と入力する。			—
5		バージョン	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			—
6		インスタンスID	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			—
7		メッセージ種	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			—
8		作成日時	必須	日時	dateTime		○	○	○	○	○	○	○	○	メッセージ全体の作成日・時間			—
9		テスト区分ID	任意	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			—
10		最終送信先ID	任意	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			—
11		メッセージ識別ID	必須	文字	string		○	○	○	○	○	○	○	○	メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“ MSG-”を足したものを入力する。			—
12		送信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			—
13		最終受信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			—
14		直接受信者ステーションアドレス	任意	英数	Identifier	8	○	○	○	○	○	○	○	○	現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			—
15		取引数	任意	数字	Numeric	7	○	○	○	○	○	○	○	○	ビジネスメッセージにある取引件数。			—
21	登場人物：小売	支払法人コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○	○	○	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。		法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード	P26
22		支払法人GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○	○	○	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。			P23、26
23		発注者コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。		社コード、法人コード、チェーンストアコード	P18、20
24		発注者GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			P18、20、21、23
25		発注者名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			P18、20
26		発注者名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。		社名称、法人名称、加盟企業名称	P18、20
27		直接納品先コード	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○			卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。		物流センターコード、店舗コード、	P18、20
28		直接納品先GLN	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○			卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。			P18、20、21、23
29		直接納品先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○			27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			P18、20
30		直接納品先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○			27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称	P18、20
31		最終納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○			最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。		物流センターコード、店舗コード	P18、20
32		最終納品先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○			最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			P18、20、21、23
33		最終納品先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○			31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			P18、20
34		最終納品先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○			31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。		物流センター名称、店舗名称	P18、20
35		計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○	○	○	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。		物流センタコード、店舗コード	P18、20
36		計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○	○	○	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定			P18、20、23
37		計上部署名称（カナ）	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○			○	○	○	○	31「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。		物流センター名称、店舗名称	P18、20
38		陳列場所コード	任意	英数	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○				売場の商品陳列場所ごとに納品の括りをつけてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。		納品カテゴリー、カテゴリーコード	P20
39		陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○				38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			P20
40		陳列場所名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○				38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			P20
51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。		取引先コード	P19、20
52		請求取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			P19、20、23、24
53		請求取引先名	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			P19、20
54		請求取引先名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称	P19、20
55		取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。		取引先コード、メーカーコード	P19、20
56		取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○	○	○	○	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			P19、20、21、23、24、25
57		取引先名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			P19、20
58		取引先名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○	○	○	○	○	○	○	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。		取引先名称	P19、20
59		〈ブレイク集計調整関連〉 枝番	任意	英数	Identifier	MAX2	○	○	○	○	○	○			一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備	P19、20、25
60		出荷先コード	任意	英数	Identifier	MAX4	○	○	○	○	○	○			55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。		出荷先コード、フロアー	P19、20、25
61		発行区分	任意	数字	Code	MAX2							○	○	商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の括り（例：事業所別、地区別など）に合わせて請求支払いをする場合に任意で使用。請求データにセットされた値がそのまま支払い案内データに引き継がれる。		発行区分、伝票区分	P19
62		連番	任意	数字	Numeric	5							○	○	商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支払い案内データに引き継がれる。		連番、レコード連番	P19
63		〈物流関連〉 出荷場所GLN	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○	○	○	○				取引先の出荷地点を表す。取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			P21、23、25
64		入荷管理用メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		○			○				預りDCで使用するメーカーのプライベートコード			—
71	商品関連	メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	○	○			○	○			JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。		メーカーコード（3桁の独自コード）	—
72		商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	○	○	○	○	○	○			共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「O」固定		JANコード、頭O＋JANコード（14桁）	P27、28
73		商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	○	○	○	○	○	○			小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。		商品コード、JANコード、EOS（社内コード）	P27、28
74		商品コード（取引先）	任意	英数	Identifier	MAX14	○	○	○	○	○	○			卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。		受注者商品コード、取引先品番、品番	—
75		商品コード区分	必須	数字	Code	3	○	○	○	○	○	○			73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○		P28

\*1 必須／任意・・・メッセージ種や各項目が含まれる上位階層が必須／任意かによって、この一覧で記載されている必須／任意が異なる場合もあります。  
\*2 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

Ver1.0 番号	分類	項目名	必須／任意*1	タイプ	XML データ型	桁数	発注	出荷	出荷 梱包 （紐付 けあり）	出荷 梱包 （紐付 けなし）	受領	返品	請求	支払	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 *2	運用ガイドライン Ⅲ-2. メッセージ項目解説 関連ページ
76		ITFコード（集合包装GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX16		○	○	○					集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			P27、43
77		商品名	任意	文字	Text	MAX25	○	○			○	○			73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			—
78		商品名カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	○	○			○	○			73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	商品名称		—
79		規格	任意	文字	Text	MAX25	○	○			○	○			商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			—
80		規格カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX25	○	○			○	○			商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		—
81		カラーコード	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○			○	○			商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。		カラーコード	P29
82		サイズコード	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○			○	○			商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。		サイズコード	P29
83		カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	○	○			○	○			81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			—
84		カラー名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX20	○	○			○	○			81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラー名称		—
85		サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	○	○			○	○			82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			—
86		サイズ名称カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX30	○	○			○	○			82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズ名称		—
87		商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○	○	○	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		DPT№、群番、グループコード、部門	P29
88		商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○	○	○	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート	P29
89		商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○			小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）	P29
90		商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○			小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）		関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード	P29
101	日付関連	発注日	必須	数字	Date	8	○	○	○	○	○				小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）		発注日	P31
102		直接納品先納品日	任意	数字	Date	8	○	○	○	○	○				27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮食材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。		センター納品日、店着荷指定日	P30、31
103		最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	○	○	○	○	○				31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。		店納品指定日、納入日、納品日	P30、31
104		訂正後直接納品先納品日	任意	数字	Date	8		○	○	○	○				卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			P31
105		訂正後最終納品先納品日	任意	数字	Date	8					○				卸／メーカー側が、出荷データ上で27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正した場合、その訂正に伴って発生する31「最終納品先コード」32「最終納品先GLN」への納品日訂正を小売側が受領データ上でセット。			P31
106		計上日	必須	数字	Date	8	○	○			○	○	○	○	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。		納入日、計上日、店着荷指定日	P31
107		販促開始日	任意	数字	Date	8	○	○	○	○	○				小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。		売出開始日、売出日	—
108		販促終了日	任意	数字	Date	8	○	○			○				小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。			—
109		配達予定日	任意	数字	Date	8	○	○			○				配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。		配達予定日	—
110		取引（発注・返品）データ有効日	任意	数字	Date	8	○				○				この取引（発注・返品）の有効年月日。この日までに卸／メーカー側から出荷がされ、小売側に納品がない場合は発注自体を無効となる。			—
111		納品期限	任意	英数	Text	MAX8	○	○			○				31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。		納品期限、入荷期限	—
112		賞味期限日	任意	数字	Date	8		○	○	○					商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。			—
113		製造日	任意	数字	Date	8		○	○	○					商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。			—
114		対象期間開始	任意	数字	Date	8							○	○	請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。		買掛締期間（開始日）、対象期間・自	—
115		対象期間終了	必須	数字	Date	8							○	○	請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。 締め日。		買掛締期間（終了日）、対象期間・至	—
116		支払日	任意	数字	Date	8								○	小売側が請求先（卸／メーカー）に支払い（振込）をする日付。		支払年月日	—
121	番号	取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	○	○	○	○	○	○	○	○	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味		伝票番号、伝票番号+C/D	P32
122		取引付属番号	任意	数字	Identifier	MAX10	○	○			○	○			取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）		外注№、客注№、伝票行番号、配達伝票番号	P33
123		取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	○	○	○	○	○	○			121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味		伝票行番号、行番号	P32
124		取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	○	○			○	○			122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号		外注№、客注№、（一括伝票に対する行内のオカレンス番号）	P33
125		センター納品書番号	任意	数字	Identifier	MAX10		○	○	○	○				卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。		送り書№	—
126		製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16		○	○	○					製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			—
127		請求書番号	任意	数字	Identifier	10								○	請求者（卸／メーカー）が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。		請求書番号	—
131	金額	原単価	必須	数字（小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	○	○	○	○	○	○			1取引明細の商品の原価単価。		原価単価、原単価	P34
132		原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○			1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量（バラ）」）。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）		原価金額	P34
133		原価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○			1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ		原価金額	P34
134		売単価	必須	数字	Amount	MAX10	○	○	○	○	○	○			1取引明細の商品の売価単価。		売価単価、売単価	P34
135		売価金額	必須	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○			1 取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量（バラ）」）。		売価金額	P34
136		売価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○			1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ			P34
137		税額	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○			1 取引明細の132「原価金額」の消費税額。		消費税等	—
138		税額合計金額	任意	数字	Amount	MAX10	○	○			○	○	○	○	1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			—
139		請求金額符号	必須	文字	Code	1							○	○	請求金額の正負。（例：仕入は＋、返品、値引は－）			—
140		支払金額符号	必須	文字	Code	1								○	支払金額の正負。（例：仕入は＋、相殺、返品、値引は－）			—
141		請求金額	必須	数字	Amount	MAX11								○	請求者（卸／メーカー）が小売に対して行う、1 取引番号あたりの商品代金請求金額。		請求金額	—
142		支払金額	必須	数字	Amount	MAX11								○	小売が請求者（卸／メーカー）に対して支払う、1 取引番号あたりの商品代金。		金額、金額合計、消費税額計、支払金額、原価（符号付き）	—
143		金額符号（小売自由使用）	任意	文字	Code	1								○	「金額」（小売自由使用）の正負			P35
144		金額（小売自由使用）	任意	数字	Amount	MAX11								○	請求照合の結果、卸／メーカーへの支払い額以外に開示する項目（小売計上額、請求残、次回繰越額等）の金額をセット。		アンマッチ買掛計上金額	P35
151	数量	発注数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	○	○	○	○	○				1 取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。		数量、発注数	P36
152		発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	○	○	○	○	○				発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。		発注単位区分、発注単位数、入数	P36
153		発注数量（発注単位数）	必須	数字	Quantity	MAX6	○	○	○	○	○				発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量（発注単位数）」＝151「発注数量（バラ）」		発注ケース数、発注単位数	P36
154		発注単位コード	必須	数字	Code	2	○	○	○	○	○				発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	○	単位	—
155		発注荷姿コード	任意	数字	Code	2	○	○			○				納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース （この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず' 個' になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	○		—
156		出荷荷姿コード	必須	数字	Code	2		○							実際の出荷荷姿。卸・メーカーがセット	○		—
157		数量合計	任意	数字	Quantity	MAX6	○	○			○	○			1 取引番号（発注）単位の151「発注数量（バラ）」の合計。			—
158		発注単位数量合計	任意	数字	Quantity	MAX6	○	○			○				1 取引番号（発注）単位の153「発注数量（発注単位数）」の合計。		合計ケース数（一括伝票）	—
159		出荷数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7		○	○	○	○				1 取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット		出荷数量	—
160		出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6		○	○	○	○				1 取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			—

\*1 必須／任意・・・メッセージ種や各項目が含まれる上位階層が必須／任意かによって、この一覧で記載されている必須／任意が異なる場合もあります。  
\*2 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

Ver1.0 番号	分類	項目名	必須／任意*1	タイプ	XMLデータ型	桁数	発注	出荷	出荷 梱包 （紐付けあり）	出荷 梱包 （紐付けなし）	受領	返品	請求	支払	項目の意味	コード リスト	現行入力しているデータ項目 *2	運用ガイドライン Ⅲ-2 メッセージ項目解説 関連ページ
161		出荷数量（出荷荷姿数）	必須	数字	Quantity	MAX6		○							1 取引明細（発注）単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			—
162		受領数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7					○				1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。（卸／メーカー側がセットした159「出荷数量（バラ）」との差異の有無にかかわらずセット）	受領数量	—	
163		受領数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6					○				1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。（卸／メーカー側がセットしたの160「出荷数量（発注単位数）」との差異の有無にかかわらずセット）		—	
164		返品数量（バラ）	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7						○			1 返品明細での73「商品コード（発注用）」の返品バラ数。		—	
165		欠品数量(バラ数)	必須	数字（小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7			○	○	○				1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット	欠品数量	—	
166		欠品数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6			○	○	○				1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット		—	
171	各種区分（発注）	商品区分	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○	○			定番(フロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	○	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	—
172		発注区分	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○				発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	○	発注区分、データ区分	—
173		出荷データ有無区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	○	EDI区分	—
174		EOS区分	任意	数字	Code	2		○	○	○	○				小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○		—
175		納品経路	任意	数字	Code	2	○	○			○				小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	○	納品区分、納入センター区分、ストック区分	—
176		便No	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○				小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していた	○	便、便情報、便コード	—
177		通過在庫区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	○	在庫区分、通過在庫区分	—
178		納品区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	○	センター納品方法、単品総量区分	—
179		センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2	○	○			○				納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	○		—
180		商品移動区分	必須	数字	Code	2							○		返品において、該当の商品が返却されるか、返却がされないかを表す。（返却されない・・・汚破損等により商品を小売が廃棄処分する場合等）	○	商品移動	—
181	（商品）	PB区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	○		—
182		配送温度区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	○		—
183		酒区分	任意	数字	Code	2	○	○			○				当該発注商品が酒であるかどうか判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。	○		—
184	（決済）	処理種別	任意	数字	Code	2	○	○	○	○	○	○		○	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	○	伝票区分	P37
185		配送料免除区分	任意	数字	Code	2						○			返品配送料を卸／メーカー（返品先）に負担していただくかどうかを表す。	○	配送料免除区分（返品）	—
186		伝票レス区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○			小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	○	伝票有無区分、EDI区分、在庫センター区分	—
187		返品・値引理由コード	必須	数字	Code	3						○			返品、値引きの理由	○	返品理由	—
188		訂正区分	任意	数字	Code	2					○				小売での検収時に出荷データと実納品との間に差が発生した場合、小売側が受領データにセットする差異理由。	○		P37
189		請求区分	任意	数字	Code	2								○	当月（回）請求、前月（回）繰越請求を区別する区分。	○	請求区分	—
190		未払買掛区分	任意	数字	Code	2								○	請求（支払）データが、小売側にとって買掛（商品代金）計上するの未払い金（商品以外の代金）計上するのかを区別する区分。	○	レコード区分、区分	—
191		照合結果	必須	数字	Code	2								○	卸／メーカーの請求額と小売側の買掛額を照合した結果を告知する項目。	○	計上区分、マッチ区分、備考コード	P39
192		支払内容	必須	数字	Code	4								○	支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	○	伝票区分（支払い内容）、請求区分、支払区分	P38、40、41
193		支払内容（個別）	必須	数字	Code	4								○	192「支払内容」の内訳。小売側で独自に管理しているコードをセット。	○	伝票区分（支払い内容）	P38、40、41
194		支払内容（個別名称）	必須	文字	Text	MAX25								○	193「支払内容（個別）」に対する名称。			P38、40、41
195		支払内容（個別名称カナ）	必須	文字（半角カナ）	Text	MAX25								○	193「支払内容（個別）」に対する名称（半角カナ）。			P38、40、41
196		支払方法区分	任意	数字	Code	2								○	手形、銀行振込 等	○		—
197		欠品区分	任意	数字	Code	2		○	○	○					卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○	欠品理由、欠品区分	—
201	税	税区分	任意	数字	Code	2	○	○			○	○	○	○	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	○	税区分	—
202		税率	任意	数字（小数点以下1桁有り）	Numeric	3	○	○			○	○	○	○	消費税率を表す。		税率	—
211	梱包情報	取引先出荷日	必須	数字	Date	8			○	○					卸／メーカーが商品を出荷した日。		取引先出荷日、ベンダー出荷年月日	—
212		出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6			○	○					出荷（梱包）単位の出荷数。出荷（梱包）データ内のITFレコードにセットする。			P43
213		出荷総梱包数	必須	数字	Quantity	MAX6			○	○					出荷（梱包）単位の総梱包数。		取引先出荷梱包数、ベンダー出荷総梱包数	—
214		ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4			○	○					この正梱内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。商品コード(発注用) がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			P43
215		カゴテナNO	任意	数字	Identifier	MAX36			○	○					梱包NOがひもつく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。			P42
216		親梱包NO	任意	数字	Identifier	MAX36			○	○					1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テーブルセットのテーブルと椅子 のような例			P42
217		梱包NO	必須	数字	Identifier	MAX36			○	○		○			梱包単位に付けられたNo.		梱包No.	P42
218		担当者	任意	文字	Text	MAX10			○	○					出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			—
219		担当者カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX10			○	○					出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）		担当者	—
220		連絡先(TEL)	任意	英数	Text	MAX12			○	○					218「担当者」の電話番号。		連絡先（TEL）	—
221		連絡先(FAX)	任意	英数	Text	MAX12			○	○					218「担当者」のFAX番号。		連絡先（FAX）	—
231	コメント	自由使用欄	任意	文字	Text	MAX60	○	○			○	○			伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）	—
232		自由使用欄半角カナ	任意	文字（半角カナ）	Text	MAX60	○	○			○	○			伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。		伝票の自由使用欄（発注）、承認No.(受領伝票)	—

\*1 必須／任意・・・メッセージ種や各項目が含まれる上位階層が必須／任意かによって、この一覧で記載されている必須／任意が異なる場合もあります。  
\*2 現行入力しているデータ項目・・・小売各社の現行入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。